

3月下旬発売！ 乾燥地科学シリーズ（全5巻）第1回配本

21世紀の乾燥地科学

—人と自然の持続性—

恒川篤史編

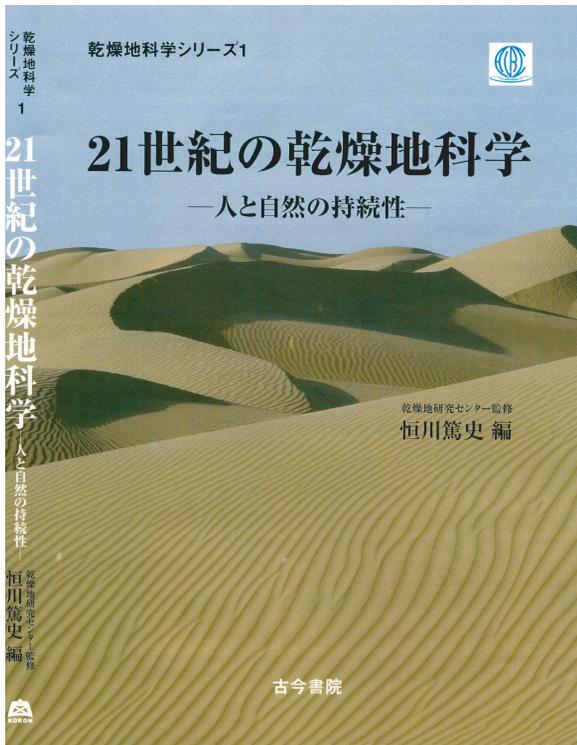
乾燥地研究センター監修

定価3990円（税込み）

A 5判

254ページ

ISBN978-4-7722-3105-3



森林に覆われた湿潤な日本とは対極にある乾燥地。そこには砂丘の織り成す美しい景観があり、厳しい環境を生き抜く動物や植物、そして独自の知恵を育んできた砂漠の民がいる。われわれが乾燥地の人や自然から学ぶことは多い。

いっぽう、最近公表されたミレニアム生態系評価によると、最も乾燥地に住む人々は一人あたりのGDPが最も低く、乳幼児死亡率が最も高いなど、人間の福利のレベルは他の地域に比べて低い。……われわれが取り組むべき「21世紀の乾燥地科学」とは、乾燥地の人や自然に学びつつ、数多くの困難に直面し支援を必要としている乾燥地の自然と社会に対して、その持続性の維持・向上に貢献するための科学技術だと理解しても良いだろう。

第1巻「まえがき」より

目次

- 1 乾燥地と砂漠化 (木村玲二・篠田雅人・山中典和・恒川篤史・黒沢洋一・穆浩生・山本太平)
- 2 これまでの乾燥地研究と新しい乾燥地科学の枠組み (辻渉・服部太一朗・稲永忍ほか)
- 3 乾燥地における自然—社会系の持続性の診断 (井上光弘・望月秀俊・安田裕・高山成・檜谷治・小谷和彦ほか)
- 4 乾燥地における自然—社会系の持続性を向上させるための対策 (留森寿士・中澤亮二・劉薇・伊藤健彦・山田智・田中浄・安ピン・山田美奈・林農・安養寺久男ほか)

●乾燥地科学シリーズ 全5巻 各3990円

第1巻	21世紀の乾燥地科学	2007年3月刊
第2巻	乾燥地の自然	2008年秋刊行
第3巻	乾燥地の土地劣化とその対策	2008年春刊行
第4巻	乾燥地の土地利用	2008年末刊行
第5巻	黄土高原の砂漠化とその対策	2007年秋刊行

購入ご希望の方は、書店または古今書院へ直接お申し込みください。

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-10 古今書院 (ここんしょいん)

電話 03-3291-2757 FAX 03-3233-0303

<http://www.kokon.co.jp/>